

◎ 「犯罪から身を守るために」特設の道徳の授業

7月14日(火)、5月栃木県で発生した事件を受けて、相模原市教育委員会が立案した教材を使って道徳の授業を行いました。少年が巻き込まれる可能性のある「闇バイト」の事例について、「もし自分や友人がこの立場だったら、断れるだろうか」と自分に置き換えて考える内容です。後半では「自分が犯罪に巻き込まれないようにするには、どのようなことが必要か」をどの学年の生徒も真剣に考えていました。

《授業を受けた生徒の振り返りから》

- 今日の授業を通して、自分で正しく判断することの大切さを学びました。これからは、周りに流されず、自分で考えて安全な行動をとり、自分や周りの人の命を守れるように生活していきたいです。
- 身の回りの安全は必ず保証されているわけではないと自覚して、危ないとわかったら自分だけで抱え込まずに、周りに助けをすぐ求めていきたいと思った。
- 友達のことを裏切れずに自分が犯罪者になってしまうこともあるのだと知った。もし自分もこうなったら一人で抱え込まずに近くの大人や先生に相談したい。

《生徒の振り返りをA Iで整理 … 振り返りから見える4つの核》

1. 「怪しいと思ったら立ち止まる」という意識

「少しでも怪しいと思ったらやめる」「一度立ち止まって考える」「高収入や即日即金には警戒する」といった記述が非常に多く見られました。

2. 「相談する」ことの重要性の理解

保護者、家族、先生、警察など、信頼できる大人へ相談することの大切さを学んだ生徒が多くいました。特に「一人で抱え込まない」という認識が定着していることがうかがえます。

3. 「断る勇氣」の獲得

友達からの誘いであっても断る、自分の意思を伝える、流されないという記述が数多く見られました。今回の教材が「犯罪防止」だけでなく、「自分の意思を持つこと」の学びにもつながっていることが分かります。

4. 「自分だけでなく周囲も守る」という意識

友達が誘われていたら止めたい、危険性を伝えたい、通報したいという記述も多く見られました。単なる自己防衛にとどまらず、周囲の人を守ろうとする姿勢が育まれていることは大きな成果です。

子どもたちを犯罪から守るために、家庭、学校で連携して取り組まねばなりません。近年、SNSをきっかけとして、子どもたちが犯罪に巻き込まれる事案が全国で増えています。特に深刻な問題となっているのが、いわゆる「闇バイト」です。「高額報酬」「簡単な仕事」「即日入金」などの言葉で募集される闇バイトは、実際には特殊詐欺の受け子や出し子、強盗や窃盗の実行役など、重大な犯罪に関わるものです。犯罪であることを知らずに応募したとしても、その責任を免れることはできません。また、一度個人情報伝えてしまうと、「家族に危害を加える」などと脅され、抜け出せなくなるケースも報道されています。

こうした犯罪は、決して遠い世界の話ではありません。スマートフォンを持つ中学生にとっても、SNS上で見知らぬ人とつながることは珍しいことではなく、誰もが被害者にも加害者にもなり得る時代になっています。保護者の皆様には、お子様のスマートフォンやSNSの利用について、ぜひ日頃から関心をもっていただきたいと思います。監視するということではなく、「困ったことがあったら相談できる」「何かあれば話を聴いてもらえる」という安心できる親子関係を築くことが、子どもたちを守る大きな力になります。

思春期の子どもたちは、自立に向かう一方で、悩みや不安を抱えながら生活しています。友人関係、お金のこと、将来への不安などから、安易な誘いに心を動かされてしまうこともあります。だからこそ、家庭と学校が連携し、子どもたちの小さな変化に目を向けていくことが大切です。学校では、情報モラル教育や安全教育を継続して行い、生徒が正しい判断力を身に付けられるよう取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、この機会にSNSの利用やインターネット上の危険性について話し合っていたいただければ幸いです。子どもたちのかけがえのない未来を守るため、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。子どもを守る最大の防犯対策は、家庭や学校に『相談できる大人』がいることです。

◎ 相模台中生 生活充実度調査の結果

1学期の教育活動を無事に終了することができました。学習や部活動など中学校生活が身についてきた1年生、1年先輩となって模範となる生活を送ってきた2年生、最上級生として生徒会活動や行事を牽引してきた3年生、4月から新たな気持ちで1学期間を過ごしてきました。このような1学期を振り返るために「相模台中生 生活充実度調査」を実施しました。

右の表は15の質問項目を達成度の高い順に並べ換えたものです。13の項目が達成度80%を超えました。1位、3位の回答から仲間との関係では「友だちを気遣うことができ、仲良く過ごせている」様子が読み取れます。5位、6位、7位からは「進んであいさつができ、時間やルールを守って」生活する姿勢がわかります。2位の Chromebook は、どの学年も授業のツールとして活用できています。

2学期に向けての課題は、13位、14位、15位の学習に関わる項目です。「話を集中して聴く」、「自分の考えや意見を表現する」、「わからないことを訊く」これらを大切にして学習に臨んでいきましょう。わからないことを訊くことは決して恥ずかしいことではありません。「わかった、できた」が積み重なることが自信につながっていきます。わからなかったことはそのままにせず、調べたり、訊いたりして学習を進めていきましょう。

38日間の夏休みが始まります。長い休みは、みなさん一人ひとりが自分と向き合い、成長するための大切な時間です。生活リズムが崩れがちなこの時期だからこそ、計画的に過ごすことが何より大切です。それ以上に大切なのは命を守ることです。感染症や熱中症等の予防を最優先に考えて、水の事故、交通事故、けが・病気には十分に留意した生活を送ってください。8月25日、充実した夏休みを終えたみなさんの元気な笑顔が見られることを楽しみにしています。

相模台中生 生活充実度調査（高得点順）

令和8年 1学期
令和8年6月30日 実施

順位	質問項目	1年	2年	3年	大空学級	全校
1	8 友だちと仲良く過ごすことができる	94.5	95.2	90.4	91.7	93.4
2	15 Chromebookを授業で活用することができる	92.5	92.1	94.1	88.9	92.7
3	9 友だちに気づかいができる	87.7	90.3	86.0	72.2	87.5
4	1. 自分から進んであいさつができる	83.7	87.1	91.9	88.9	87.3
5	4 ルール(きまり)を守ることができる	81.2	84.5	87.4	91.7	84.4
6	3 学校生活で時間を守って行動することができる	81.8	83.2	88.2	88.9	84.3
7	7 協力して合唱活動に取り組むことができる	82.5	84.2	85.7	86.1	84.1
8	6 係(委員会)活動に進んで取り組むことができる	81.6	83.9	88.5	69.4	84.0
9	12 相手の気持ちを考えて話を聴くことができる	82.0	85.8	82.6	83.3	83.4
10	5 進んで清掃活動に取り組むことができる	82.1	81.2	80.6	86.1	81.5
11	10 自分自身を大切にすることができる	77.5	84.3	82.0	72.2	80.8
12	2 その場にふさわしい言葉で話すことができる	79.1	80.3	83.7	75.0	80.7
13	11 人の話を集中して聴くことができる	79.6	80.8	80.3	83.3	80.3
14	13 自分の考えや意見を相手に伝えることができる	76.8	79.8	79.1	80.6	78.5
15	14 わからないことはそのままにせず訊くことができる	74.3	73.4	74.1	69.4	73.8

【9月の予定】

- 1日(火) 体育部門全体練習(1校時)
- 4日(金) 全校代議員会(15:45～16:45)
- 8日(火) 体育部門全体練習(1、2校時)
本部報告会(16:00～16:30)
- 17日(木) 舞台部門全体練習(5、6校時)
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 振替休日
- 23日(水) 秋分の日

- 24日(木) 2年生職場体験事前訪問
- 27日(日) 相模台公民館スポーツフェスタ
- 29日(火) 体育部門リハーサル(2～4校時)
生徒会委員会(15:45～16:45)

※けやき祭タイム：帰りの会を15分延長
3日、4日、8日、10日、11日、15日
18、25日

